



〒869-12 熊本県菊池郡大津町森54-2 ☎096-293-8100  
社会福祉法人 三気の会 三気の里

手をとりあって

理事長 田中 稔

先日、小学校入学を目前にお母さんが我が子と共に命を断つという痛ましい出来事がありました。

自閉症親の会には入っておられませんでした。

熊本県自閉症児者親の会は二十数年前、その当時自閉症というわけの分からない障害名を子供達につけられた十数名の親達によって作られました。

このようにして各県に作られた親の会が集まって、全国親の会連絡協議会が作られたのです。さらにこの協議会が発展し、社団法人「日本自閉症協会」となって現在に至っています。従って熊本県自閉症児者親の会は、日本自閉症協会熊本支部でもあります。

自閉症という障害は絶対数が少ない障害です。熊本で自閉症という診断が行われ始めて、二十五年以上になりますが、未だに教育・福祉・医療の現場でさえ正しく理解されていません。自閉症という言葉ゆえに誤った先入観がありテレビドラマ、週刊誌の中で誤った使われ方をしています。

自閉症は初め、親の育て方が原因

因でなる、親は全てあるがまま、なすがまま温かく接していれば心の窓が開かれて自閉症は治ると言われていた時期があります。一九七〇年代に入って脳の発達に障害があつて起こる発達障害という考え方が出て来て、現在ではこの考え方が多くの人から支持されています。

若いお母さん方と話すとき、驚くほど自閉症の療育法について、その後について教えられず、知らされていません。子供の示す奇妙な行動を育て方や心の問題として考え始めると、出口のない状況の中にはまってしまいます。お母さんは特に、自分のせいにして自分で自分を追い込んでいきがちです。

この障害は理解者が少ない家族は孤立しがちです。親の会を作った原点に返って親は肩を寄せ合い助け合っていきたいと思えます。こんな事件を繰り返してはいけません。もう沢山です。



第2回ゆうあいピック  
熊本県大会

5月26日(水) 水前寺陸上競技場にて  
!!三気の里 選手決定!!

元田くん、松村くん、  
中村希くん、富田さん  
松島さん、佐々木くん  
井口さん、伊石さん、  
坂本さん

御声援よろしく!!



第3回菊池阿蘇ブロック  
体育大会

5月16日(日) 開催9:30競技開始  
大津小学校グラウンドにて

人も街ももっと  
やさしく

を愛言葉に!!  
三気の里の園生が力強く走り、飛んで、  
頑張ります。是非見に来て下さい。

# 療育シリーズ

## 力の加減

團長 土井尚典

外来療育相談で訪れたお母さんの心配事の一つに、お子さんが力の加減ができないことがあった。

例えば、車を運転しているときに突然お母さんの左肩にかみつくとある。そのかみ方が手加減をしないとということであった。このことの本論はパニックを起こさないようにすることであり、かみつかせないようにすることであり、パニック時の対応である。こういった話の最中に出てきた話である。

力の加減というのはパニックを起すことも重要な関係がある。別の見方をすれば、力の加減さえできればパニックもお母さんにとっ

て、たいした心配でなくなる。腹を立てたとき、悲しいとき、不安なとき思いっきり表現するの

がパニックである。しかし、うれしいときも思いっきりの表現が出てきているはずである。喜びの表現はパニックとはどうやら言わないようである。この相反する表現は根っこの部分で同じものであれば指導のプロセスでは、パニック

耐性ができあがるプロセスにおいて、喜びの表現も柔らかくなっていくはずである。パニックが収まってきたけどおとなしくなってしまうて元気がないみたいというものは自然の成り行きである。

「力の加減」だけの訓練をする場合は、体を指示に従ってゆっくり動かす、最初は手を添えて教え、次に手は添えているが自分の意志で動かし、指示だけで動かすという動作法を用いると比較的速く習得される。同時にパニックが収まってくることも多く報告されている。

このことが事実であればパニックと「力の加減」は密接な関係があると考えられる。さらにパニック耐性となって行くかの問題については訓練間隔を少しずつあけて行くことで可能なように考えられている。

「力の加減」の訓練は外にもたくさんさんの訓練方法が考えられる。要は「力の加減」が習得されることで情緒の安定が図られるものであれば大変な助けになる。さらに実践を積んでみたい。

ブラッシング指導に、歯科衛生士の方が、毎月一〜二回程、ボランティアで来られています。先月の事、ある園生が3年目にして、

ようやく染出し、仕上げ磨きがすんなり出来たとの事。怖がりの彼いつもは、他の園生の様子を遠目に見ていたり、声かけしてもスーッと消えてしまったり。そんな彼が、コップと歯ブラシを両手に持ち、〃やって欲しい〃と言わんばかりに肩をグイと引っ張りに来たと喜びの声。その場に居合わせなかった私も、後で話を聞き一緒に大喜びしました。

## ボランティア通信

ボランティア募集

5月16日(日)に、愛護の運動会が行われる予定です。春風を受け、皆と一緒に駆けっこしたりと、楽しんでみませんか？ボランティア希望の方は、担当(今村・山中)までご連絡下さい。

森 隆子 栗屋美保

☆ボランティアありがとう

☆ボランティア指導

☆ボランティア

外山



\* 締め切り↓5月8日

山中

# 班ニュース

## のんきの国へようこそ

4月1日、装いも新たに、園生19名、スタッフ7名でスタートした1班。大世帯の為混乱を予想していたものの、作業室の変更で納得出来ず、少々イライラした以外は、いたってスムーズに移行することが出来ました。

旧班の作業をそのまま、移行したことも混乱をあたえなかったようです。

現在、作業は、仕分け作業、パッキンセット作業等、ネット作業の3つの作業を中心に毎日頑張っております。今年も、四国旅行をめざしてファイト！ファイト！

ところで、今年より1班の名称が味気ないとの意見から、のんきの国と呼ぶことにしました。作業も、仕分け村、ネットタウン、パッキン諸島、バリ島、ココ村と愛敬のある名前をつけました。単純な作業の毎日ですが個性豊かな、園生・スタッフの大きな声、笑い声が響いております。

先頃、春おそい高森の千本桜を見に行きました。歌の上手な人もおり、とてもにぎやかな花見になりました。

次回班ニュースはより楽しいニュースをお伝えしようと思っています。

坂井

## 2班 新人近況報告

新2班(木工班)は、新しく修ちゃん・雄ちゃんの2名を加え、マー君が1班へ移動した他は変わらず計12名で、職員も新職員の松下さんが加わり計4名の体制でスタートしました。新メンバーの修ちゃんとはいうと学校時代、木工クラブに所属していたこともあってか、とても上手で、早速園芸班より注文のあった木箱を2箱製作するなど、やる気満々の所を見せてます。雄ちゃんにとっては、初めての作業という事もあるからやっていますが、木の皮むきや廃材の解体を中心に、道具の使い方など少しずつ、しかも確実に上達しています。新人職員の松下さんは早くも2班園生とも慣れ、木工作業も初めてという事でしたが、アイデアを発揮しながら楽しくやっているようです。

まだスタートしたばかりの新2班、仲良く・楽しく、怪我しないように頑張ってやろうね！

田之上

## 3班 にくまれそうなNew Face

期待と不安の中で新しい班体制はスタートしました。新3班は総勢19名、農耕を中心としたグループと園芸を中心としたグループの2つに分かれて作業を行っています。

農耕グループに新しく入ったメンバーは、浩ちゃん・泰ちゃん・久美ちゃん(紅一点)の3名で、元4班の優しい先輩達(!?)もびっくりする程、日に日に実力を上げて来ています。園芸グループは元外作業班のメンバーに、博君・典君・富多三さん・緑恵ちゃん加わり、近くの農家の人参堀りの手伝いや、花作りを始めました。これから、ハーブティーやドライフラワー、園芸の日用品作り等、とっても楽しみです。

ほかほか陽気のある日、畑に出て、泰ちゃんはずーっとニコニコ顔。初めて無人販売所にキャベツを持っていった浩ちゃん。料金箱を明けてびっくり「お金！」と笑顔で叫びました。一緒に行ったおしゃな久美ちゃんは「イヤリング買わる？」と聞きました。「さー掃ろう。」と引き上げていると「旅行いく…。」と浩ちゃんがぼつりつつぶやきました。3班皆さんで頑張って旅行にも行けるといいね。

中牟田

### 新入人紹介

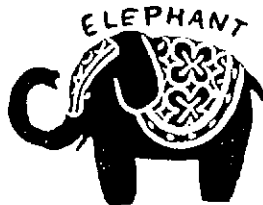
今春、別府の短大を卒業して、栄養士として働く、村上知砂です。皆さんが、とても親切なので、ここが好きになりました。これからも頑張りますので、よろしくお願ひします。

村上



“パワーの宝庫”ともいうような活気の中で、一つ一つ学んでいる毎日です。重症心身障害児(者)と共に四年間過ごし、その後、社会福祉士養成校で一年学びました。三気の里の「良さ」を皆さんと共に満喫したいです。

松下



今年の三月に社会福祉専門学校介護福祉科を卒業した満原千保と申します。念願の職場に就けてとても光栄に思っています。やる気だけは、誰にも負けていないつもりです。早くみんなと友達になればと思います。

満原

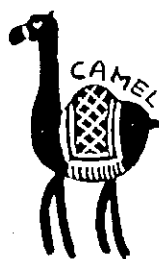


はじめまして、石丸直美です。熊本の彼方の荒尾から出て来ました。分らない事ばかりで、あっちをキョロキョロ、こっちをキョロキョロしています。皆さん御迷惑をかけますが、よろしくお願ひします。

石丸

私は、熊本社会福祉専門学校を卒業し、4月より三気の会に勤務することになりました山下貴明です。現在は自閉症児(者)の療育研修の為、東京で頑張っています。特技のスポーツは空手でタフな身体が自慢です。今後もしよろしくお願ひします。

山下



退職にあたって私事、この度足の痛みがひどくなり、急に厨房をやめさせて頂く事になりました。残念です。思えば二年数カ月の長い間、本当にお世話になりました。有り難うございました。

岡田



去る3月25日に、私は厨房から抜け出して4班のお別れ会に参加しました。お別れ会の会場となる蘇陽町のキャンプ場に到着すると曇り空で三月下旬とはいえ、まだまだ肌寒く雨さえ降ってきそうない気配。一軒のログハウスを借りてパーベキューをする事になりました。野菜はみんなが精魂込めて作ったキャベツや外作業班の人参など。又、お肉は厚みのあるステーキと材料はどれをとっても、噛み締めて食べなければいけない物ばかりでしたが、あまりのおいしさに焼けるが早いから、みんな次から次へとなくなっていました。

こんな風にみんなが一生懸命作った野菜を食べながらのお別れ会、なかなか乙なものでした。

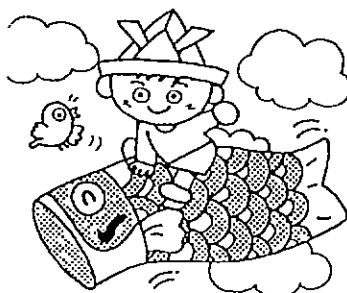
栄養の話

今が旬の「たけのこ」。ごぼうと並んで食物繊維(ダイエタリーファイバー)の大事な補給源です。その他はこれといった栄養素を期待できませんが、季節の香りとうまみは他に類のないものです。

前田

### 食堂営業中

(7) 5月の行事予定

1	土	シーツ交換・ゴールデンウィーク	16	日	愛護運動会	
2	日	↓	17	月		
3	月	↓	18	火		
4	火	↓	19	水		
5	水	↓	20	木	1班レク	
6	木		21	金		
7	金		22	土	帰宅日 保護者会	
8	土		23	日		
9	日		24	月		
10	月		25	火		
11	火		26	水	ゆうあいピック予選	
12	水		27	木	3班レク	
13	木		28	金	大掃除	
14	金		29	土	帰宅バス運行 シーツ交換	
15	土		シーツ交換 防災訓練	30	日	
				31	月	

後援会入会

ありがとう

熊部 緑 江尻 清  
吉永二子 松本三千昭  
牛島房子

四月二十三日付け

※敬称略

平成5年度のスタートです。今年度も「たんぼぼ」を愛読して下さる皆様に、三気の里をご支援いただく後援会をよろしくお願ひ申し上げます。

後援振込△△入会のご案内

◎年会費

一口三千円以上

同封の郵便替用紙で振込み

◎たんぼぼを一年間お送りします。

◎会員名簿をつくり、行事等のお知らせをします。

編集後記・「忙しさは解るのですが、頭と体がついていかない編集でした」。石丸。「負けんぞ」熊日編集記者。「松下「ワープロ打ちの天才になれるかな？」満原。

たんぼぼも時代の流れでA4サイズになりました。これからも宜しくお願ひします。津江